

142 マツモトウロコガイ

(ウロコガイ科)

兵庫県ランク:A

Paraborniola matsumotoi

環境省ランク:NT

種の概要

房総・男鹿半島から九州西岸に分布。潮通しの良い内湾・湾口部の干潟・岩礫地の転石下、低潮帯付近に生息する。殻長7.5mm程度。殻は横長の楕円形で薄質、やや膨らみ、半透明、白色で殻頂部は褐色の沈着物で覆われることが多い。靱帯は内在し、殻表には成長線がある。生時は多数の短い白色の突起がある外套膜にほぼ覆われている。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

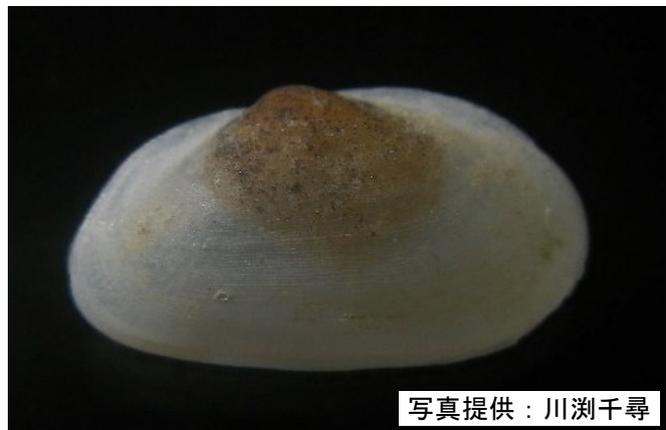
洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

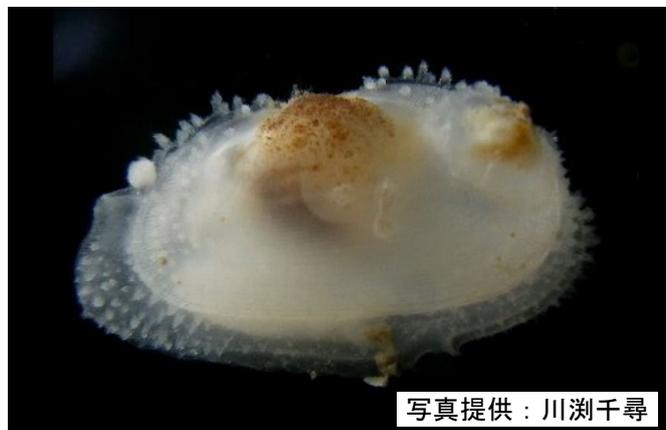
新規追加種。淡路島中部の数箇所の干潟や礫地で生息が確認されている。潮間帯の岩礫裏に生息し、アシヤガイやゴマツボ(貝類Aランク)などとともに見られることが多い。既知産地のいずれにおいても比較的普通に見られる。

保護上の留意点

やや内湾環境的な岩礁の延長上にある礫混じり砂泥干潟の保全。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋